

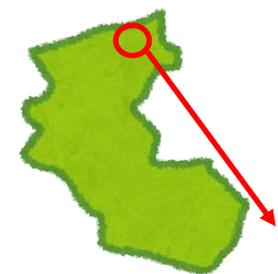
取組の概要

取組の概要 : 渋柿を加工し、あんぼ柿として販売するための加工施設の整備
 計画作成主体 : かつらぎ町
 対象品目 : 渋柿
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (農産物処理加工施設)

ポイント

加工施設を整備することにより、増産供給体制が整い、販路拡大が見込める。
 需要に対応することにより、販売額の10%以上増加を実現。

地区の概要



和歌山県
 伊都郡
 かつらぎ町

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 100ha
 農業者数 : 217名
 販売額 : 141,629千円



〈目標:H30年度〉

作付面積 : 100ha
 農業者数 : 217名
 販売額 : 267,375千円



推進体制

地域の関係者 (かつらぎ町、伊都振興局農業水産振興課) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○柿の省力化産地を目指し、園内道等の整備を推進。

〈県・市町村単独事業〉

○和歌山県「果樹産地競争力強化総合支援事業」を活用し、かつらぎ町と連携して、園内道等の整備により省力化に取り組む。

事業効果

- これまで市場出荷できなかった柿を加工・貯蔵することにより、周年供給体制を整え、ブランド力を確立する。
- 販売額の増加により、生産者の所得を向上させ、かつらぎ町妙寺地区の産地強化を実現。

～渋柿の販売額の増加～

